

# iFreePlus 米国配当王 (年4回決算型)

## 運用報告書 (全体版)

第9期 (決算日 2025年8月25日)

第10期 (決算日 2025年11月25日)

(作成対象期間 2025年5月24日～2025年11月25日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあざかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式等の中から、継続的に増配を行なう企業の株式等に投資し、配当収入の確保と値上がり益の獲得により信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限 (設定日: 2023年5月24日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	米国配当王マザーファンドの受益証券
	米国配当王マザーファンド	米国の金融商品取引所上場の株式等 (DR (預託証券) および不動産投資信託証券を含みます。)
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等を中心に分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

### 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先 (コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額				株式組入比	株式先物率	投資信託受益証券組入比率	投資証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税分配	込金	期騰落率					
1期末(2023年8月23日)	円 10,585	円 10	% 6.0	% 91.5	% -	% 3.5	% 2.2	百万円 558	
2期末(2023年11月24日)	10,546	60	0.2	93.4	-	1.6	2.2	606	
3期末(2024年2月26日)	11,120	60	6.0	94.3	-	1.1	1.9	1,235	
4期末(2024年5月23日)	11,852	80	7.3	90.2	-	5.3	1.9	1,686	
5期末(2024年8月23日)	11,485	60	△2.6	92.0	-	3.9	2.0	1,879	
6期末(2024年11月25日)	12,511	75	9.6	94.5	-	1.3	2.0	2,170	
7期末(2025年2月25日)	11,643	70	△6.4	92.6	-	2.8	1.8	2,219	
8期末(2025年5月23日)	10,791	70	△6.7	94.0	-	1.6	1.9	2,229	
9期末(2025年8月25日)	11,749	75	9.6	94.7	-	0.9	2.0	2,435	
10期末(2025年11月25日)	11,723	80	0.5	93.3	-	2.2	1.9	2,328	

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

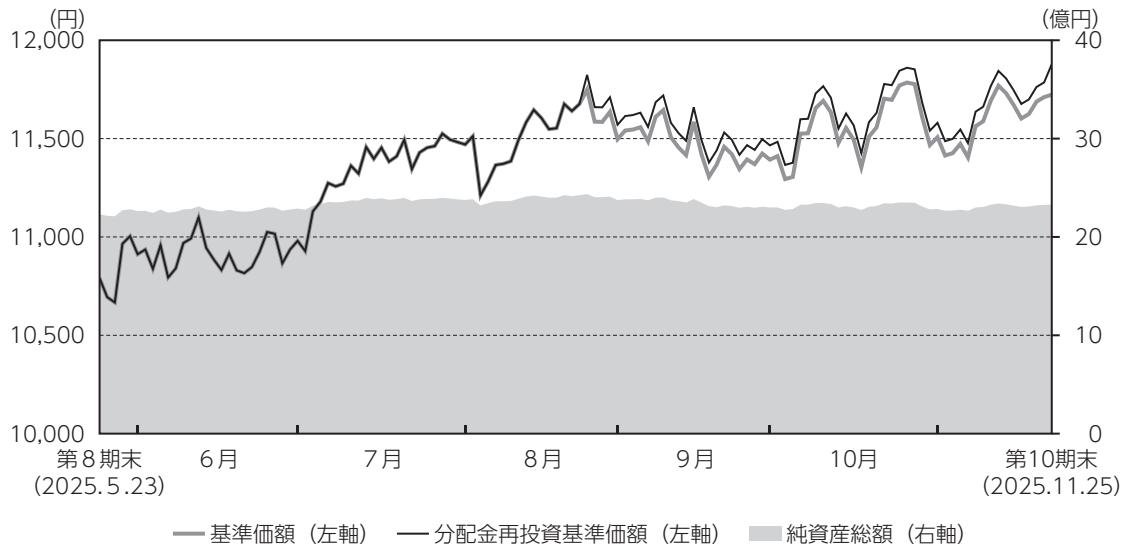
(注3) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指標がないため、ベンチマークおよび参考指標を記載しておりません。



# 運用経過

## 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

## 基準価額・騰落率

第9期首：10,791円

第10期末：11,723円（既払分配金155円）

騰 落 率：10.1%（分配金再投資ベース）

## 基準価額の主な変動要因

当作成期は、米ドル円為替相場と米国株式市況がともに上昇したことを受け、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

	年 月 日	基 準 価 額		株式組入比率	株式先物比率	投資信託組入比率	投資証券組比率
		騰落率	基準価額				
第9期	(期首) 2025年5月23日	円 10,791	% −	% 94.0	% −	% 1.6	% 1.9
	5月末	10,912	1.1	94.8	—	1.0	1.9
	6月末	10,980	1.8	94.6	—	—	1.9
	7月末	11,470	6.3	93.8	—	—	1.9
	(期末) 2025年8月25日	11,824	9.6	94.7	—	0.9	2.0
第10期	(期首) 2025年8月25日	11,749	—	94.7	—	0.9	2.0
	8月末	11,497	△2.1	93.8	—	1.5	1.9
	9月末	11,393	△3.0	94.1	—	1.5	1.9
	10月末	11,507	△2.1	92.9	—	1.8	1.9
	(期末) 2025年11月25日	11,803	0.5	93.3	—	2.2	1.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2025.5.24～2025.11.25)

### ■米国株式市況

米国株式市況は、当作成期末にかけて史上最高値を更新しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米中双方の大幅な関税引き下げのほか、インフレの加速が見られない中で雇用情勢が悪化しF R B（米国連邦準備制度理事会）の利下げ観測が強まることなどが好評され、上昇しました。2025年7月以降は、各国に対する相互関税の引き下げなど通商交渉が進展したことにより、9月中旬にはF R Bの利下げ決定などもあり、ほぼ一本調子で上昇しました。その後は、成長期待が高まったA I（人工知能）・半導体関連企業が相場上昇をけん引し、史上最高値圏で当作成期末を迎えるました。

### ■為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、中東情勢の緊迫化などから上下に振れる局面もありましたが、日銀が追加利上げに対して慎重な姿勢を維持したことなどから日米金利差縮小への期待が後退し、円安が進行しました。2025年7月も、米国の利下げ期待が後退したことや、日本の参議院議員選挙を前に財政拡張懸念が強まることなどから、円安基調が継続しました。しかし8月初旬には、米国の軟調な雇用統計などを受けて同国の利下げ期待が高まることで金利差縮小が意識され、急速に円高となりました。その後はおむねレンジでの推移が継続しましたが、10月に入ると、自民党総裁選挙の結果を受けた積極財政や緩和的な金融環境の継続への期待などから、投資家のリスク選好度が強まり、当作成期末にかけて円安が進行しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「米国配当王マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持します。

### ■米国配当王マザーファンド

当ファンドは、米国の株式等の中から、50年以上連続で増配している「配当王銘柄」に着目し、継続的に増配を行う企業の株式等に投資をすることで、配当収入の確保と値上がり益の獲得により信託財産の成長をめざします。引き続き、継続的に増配を行う企業の株式等の中から、流動性や財務健全性を考慮し、ポートフォリオを構築します。

## ポートフォリオについて

(2025.5.24～2025.11.25)

## ■当ファンド

当作成期を通じて「米国配当王マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れ、信託財産の成長をめざして運用を行いました。

## ■米国配当王マザーファンド

当ファンドは、米国の株式等の中から、50年以上連續で増配している「配当王銘柄」に着目し、継続的に増配を行う企業の株式等に投資をすることで、配当収入の確保と値上がり益の獲得により信託財産の成長をめざしました。

個別銘柄では、データセンター建設需要が鉄鋼需要への追い風となったNUCOR CORPや、高成長分野への選択と集中が評価されたJOHNSON & JOHNSONなどがプラスに寄与しました。その一方で、商業オフィス市場の回復が遅れたことで施設サービスの収益率が低下したABM INDUSTRIES INCや、売上高の成長性よりも原材料コストの上昇率が上回り収益率が低下したHORMEL FOODS CORPなどがマイナス要因となりました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

当成期の1万口当たり分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当たり）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当たり）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第9期	第10期
	2025年5月24日 ～2025年8月25日	2025年8月26日 ～2025年11月25日
<b>当期分配金（税込み）（円）</b>	<b>75</b>	<b>80</b>
対基準価額比率（%）	0.63	0.68
当期の収益（円）	68	63
当期の収益以外（円）	6	16
翌期繰越分配対象額（円）	2,159	2,106

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当たり）

項目	第9期	第10期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 68.05円	✓ 63.87円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,279.66	1,293.53
(d) 分配準備積立金	✓ 886.30	✓ 829.49
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,234.01	2,186.90
(f) 分配金	75.00	80.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	2,159.01	2,106.90

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

当ファンドの運用方針に基づき、「米国配当王マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持します。

### ■米国配当王マザーファンド

当ファンドは、米国の株式等の中から、50年以上連續で増配している「配当王銘柄」に着目し、継続的に増配を行う企業の株式等に投資をすることで、配当収入の確保と値上がり益の獲得により信託財産の成長をめざします。引き続き、継続的に増配を行う企業の株式等の中から、流動性や財務健全性を考慮し、ポートフォリオを構築します。

## 1万口当りの費用の明細

項目	第9期～第10期 (2025.5.24～2025.11.25)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	17円	0.145%	信託報酬＝当座成期中の平均基準価額×信託報酬率 当座成期中の平均基準価額は11,377円です。
(投信会社)	(9)	(0.078)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販売会社)	(6)	(0.056)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	1	0.005	売買委託手数料＝当座成期中の売買委託手数料／当座成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(0)	(0.003)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.002)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当座成期中の有価証券取引税／当座成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.012	その他費用＝当座成期中のその他費用／当座成期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.009)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合計	18	0.162	

(注1) 当座成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

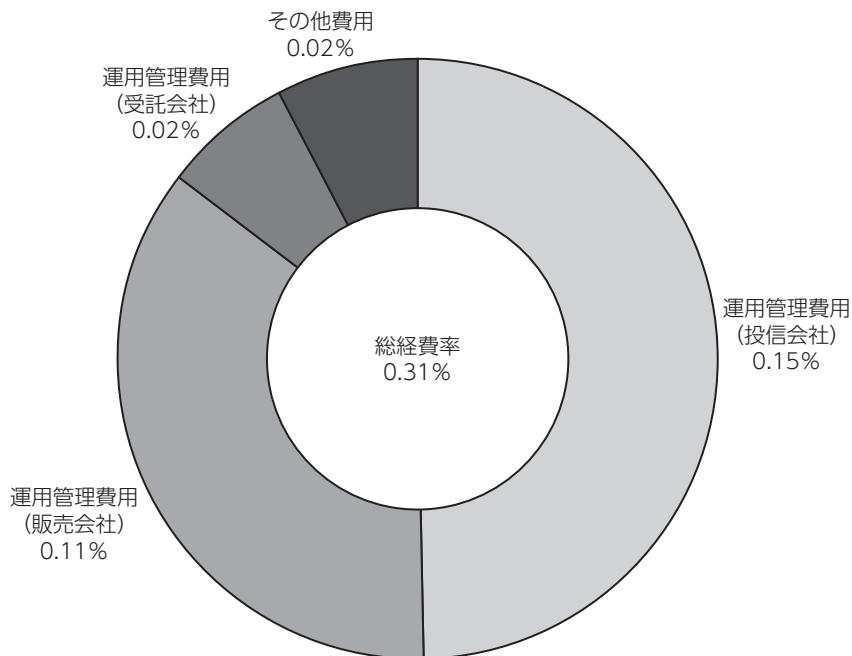
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当座成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.31%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## ■売買および取引の状況

## 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2025年5月24日から2025年11月25日まで)

決算期	第9期～第10期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
米国配当王マザーファンド	72,900	86,444	176,382	214,663

(注) 単位未満は切捨て。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2025年5月24日から2025年11月25日まで)

項目	第9期～第10期
	米国配当王マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	937,321千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,515,249千円
(c) 売買高比率(a)/(b)	0.26

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

## ■組入資産明細表

## 親投資信託残高

種類	第8期末	第10期末	
		口数	評価額
米国配当王マザーファンド	1,951,058	1,847,576	2,317,415

(注) 単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2025年11月25日現在

項目	第10期末	
	評価額	比率
米国配当王マザーファンド	2,317,415	98.7
コール・ローン等、その他	30,305	1.3
投資信託財産総額	2,347,721	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したもので、なお、11月25日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝156.87円です。

(注3) 米国配当王マザーファンドにおいて、第10期末における外貨建純資産(3,704,088千円)の投資信託財産総額(3,749,303千円)に対する比率は、98.8%です。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年8月25日)、(2025年11月25日)現在

項目	第9期末	第10期末
(A) 資産	2,459,587,373円	2,347,721,037円
コール・ローン等	17,986,746	14,557,857
米国配当王マザーファンド(評価額)	2,423,767,627	2,317,415,180
未収入金	17,833,000	15,748,000
(B) 負債	23,767,842	18,927,157
未払収益分配金	15,548,719	15,891,949
未払解約金	6,467,757	1,291,166
未払信託報酬	1,718,364	1,678,801
その他未払費用	33,002	65,241
(C) 純資産総額(A-B)	2,435,819,531	2,328,793,880
元本	2,073,162,651	1,986,493,675
次期繰越損益金	362,656,880	342,300,205
(D) 受益権総口数	2,073,162,651口	1,986,493,675口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,749円	11,723円

\*当作成期首における元本額は2,066,357,438円、当作成期間(第9期～第10期)中における追加設定元本額は263,882,660円、同解約元本額は343,746,423円です。

\*第10期末の計算口数当りの純資産額は11,723円です。

## ■損益の状況

第9期 自2025年5月24日 至2025年8月25日  
第10期 自2025年8月26日 至2025年11月25日

項目	第9期	第10期
(A) 配当等収益	19,602円	20,226円
受取利息	19,602	20,226
(B) 有価証券売買損益	210,327,786	14,920,921
売買益	216,901,668	17,401,120
売買損	△ 6,573,882	△ 2,480,199
(C) 信託報酬等	△ 1,751,366	△ 1,711,040
(D) 当期損益金(A+B+C)	208,596,022	13,230,107
(E) 前期繰越損益金	△ 95,684,843	88,002,459
(F) 追加信託差損益金	265,294,420	256,959,588
(配当等相当額)	( 219,183,940)	( 220,176,726)
(売買損益相当額)	( 46,110,480)	( 36,782,862)
(G) 合計(D+E+F)	378,205,599	358,192,154
(H) 収益分配金	△ 15,548,719	△ 15,891,949
次期繰越損益金(G+H)	362,656,880	342,300,205
追加信託差損益金	265,294,420	256,959,588
(配当等相当額)	( 219,183,940)	( 220,176,726)
(売買損益相当額)	( 46,110,480)	( 36,782,862)
分配準備積立金	182,304,781	161,576,488
繰越損益金	△ 84,942,321	△ 76,235,871

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第9期	第10期
(a) 経費控除後の配当等収益	14,108,005円	12,689,648円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	265,294,420	256,959,588
(d) 分配準備積立金	183,745,495	164,778,789
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	463,147,920	434,428,025
(f) 分配金	15,548,719	15,891,949
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	447,599,201	418,536,076
(h) 受益権総口数	2,073,162,651口	1,986,493,675口

## 収 益 分 配 金 の お 知 ら せ

	第9期	第10期
1万口当たり分配金（税込み）	75円	80円

●&lt;分配金再投資コース&gt;をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- 分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

# 米国配当王マザーファンド

## 運用報告書 第5期 (決算日 2025年11月25日)

(作成対象期間 2025年5月24日～2025年11月25日)

米国配当王マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

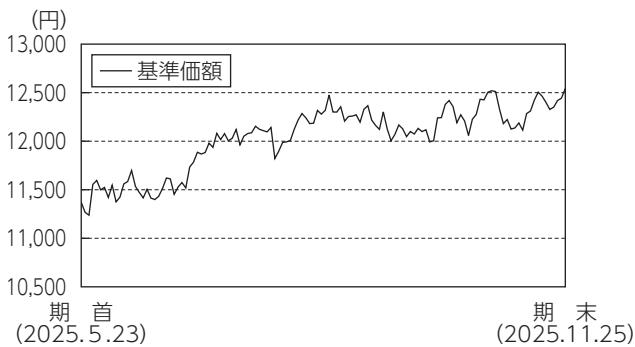
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場の株式等 (D R (預託証券) および不動産投資信託証券を含みます。)
株式組入制限	無制限

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

## ■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		株式組入率	株式先物率	投資信託受益証券組入比率	投資証券組入比率
	騰落率	(%)				
(期首) 2025年5月23日	円	11,370	—	94.4	—	1.6
5月末	11,499	1.1	95.3	—	1.0	2.0
6月末	11,574	1.8	95.1	—	—	1.9
7月末	12,096	6.4	94.3	—	—	1.9
8月末	12,207	7.4	94.3	—	1.5	1.9
9月末	12,099	6.4	94.5	—	1.5	1.9
10月末	12,223	7.5	93.4	—	1.8	1.9
(期末) 2025年11月25日	12,543	10.3	93.8	—	2.2	1.9

(注1) 謄落率は期首比。

(注2) 株式先物比率は賃建比率－売建比率です。

(注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指標がないため、ベンチマークおよび参考指標を記載しておりません。

## 《運用経過》

## ◆基準価額等の推移について

## 【基準価額・騰落率】

期首：11,370円 期末：12,543円 謄落率：10.3%

## 【基準価額の主な変動要因】

当作成期は、米ドル円為替相場と米国株式市況がともに上昇したことを受け、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

## ◆投資環境について

## ○米国株式市況

米国株式市況は、当作成期末にかけて史上最高値を更新しました。

米国株式市況は、当作成期首より、米中双方の大幅な関税引き下げのほか、インフレの加速が見られない中で雇用情勢が悪化しF R B（米国連邦準備制度理事会）の利下げ観測が強まることなどが好感され、上昇しました。2025年7月以降は、各国に対する相互関税の引き下げなど通商交渉が進展したこと加え、9月中旬にはF R Bの利下げ決定などもあり、ほぼ一本調子で上昇しました。その後は、成長期待が高まったA I（人工知能）・半導体関連企業が相場上昇をけん引し、史上最高値圏で当作成期末を迎える。

## ○為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、中東情勢の緊迫化などから上下に振れる局面もありましたが、日銀が追加利上げに対して慎重な姿勢を維持したことなどから日米金利差縮小への期待が後退

し、円安が進行しました。2025年7月も、米国の利下げ期待が後退したことや、日本の参議院議員選挙を前に財政拡張懸念が強まつたことなどから、円安基調が継続しました。しかし8月初旬には、米国の軟調な雇用統計などを受けて同国の利下げ期待が高まつたことで金利差縮小が意識され、急速に円高となりました。その後はおおむねレンジでの推移が継続しましたが、10月に入ると、自民党総裁選挙の結果を受けた積極財政や緩和的な金融環境の継続への期待などから、投資家のリスク選好度が強まり、当作成期末にかけて円安が進行しました。

## ◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドは、米国の株式等の中から、50年以上連続で増配している「配当王銘柄」に着目し、継続的に増配を行う企業の株式等に投資することで、配当収入の確保と値上がり益の獲得により信託財産の成長をめざします。引き続き、継続的に増配を行う企業の株式等の中から、流動性や財務健全性を考慮し、ポートフォリオを構築します。

## ◆ポートフォリオについて

当ファンドは、米国の株式等の中から、50年以上連続で増配している「配当王銘柄」に着目し、継続的に増配を行う企業の株式等に投資することで、配当収入の確保と値上がり益の獲得により信託財産の成長をめざします。

個別銘柄では、データセンター建設需要が鉄鋼需要への追い風となったNUCOR CORPや、高成長分野への選択と集中が評価されたJOHNSON & JOHNSONなどがプラスに寄与しました。その一方で、商業オフィス市場の回復が遅れたことで施設サービスの収益率が低下したABM INDUSTRIES INCや、売上高の成長性よりも原材料コストの上昇率が上回り収益率が低下したHORMEL FOODS CORPなどがマイナス要因となりました。

## ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指標を設けておりません。

## 《今後の運用方針》

当ファンドは、米国の株式等の中から、50年以上連続で増配している「配当王銘柄」に着目し、継続的に増配を行う企業の株式等に投資することで、配当収入の確保と値上がり益の獲得により信託財産の成長をめざします。引き続き、継続的に増配を行う企業の株式等の中から、流動性や財務健全性を考慮し、ポートフォリオを構築します。

## ■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	1円
（株式）	(0)
（投資信託受益証券）	(0)
（投資証券）	(0)
有価証券取引税	—
その他費用	1
（保管費用）	(1)
（その他）	(0)
合計	2

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入しております。

# 米国配当王マザーファンド

## ■売買および取引の状況

### (1) 株式

(2025年5月24日から2025年11月25日まで)

	買付			売付		
	株数	金額	株数	金額	株数	金額
外国 アメリカ	百株 434.22 (一)	千アメリカ・ドル 2,482 (一)	百株 390.21	千アメリカ・ドル 3,839		

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) (一)内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

### (2) 投資信託受益証券

(2025年5月24日から2025年11月25日まで)

銘柄	銘柄	買付			売付		
		口数	金額	口数	金額	口数	金額
外国 アメリカ PROSHARES S&P DIVIDEND ARISTOCRAT		千口 22.152	千アメリカ・ドル 2,261	千口 21.06	千アメリカ・ドル 2,154		

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

### (3) 投資証券

(2025年5月24日から2025年11月25日まで)

銘柄	銘柄	買付			売付		
		口数	金額	口数	金額	口数	金額
外国 アメリカ FEDERAL REALTY INVS TRUST		千口 0.122	千アメリカ・ドル 11	千口 0.457	千アメリカ・ドル 45		

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

### 株式

(2025年5月24日から2025年11月25日まで)

銘柄	銘柄	買付				売付				
		株数	金額	平均単価	株数	金額	平均単価	株数	金額	
KENVUE INC (アメリカ)		千株 12,522	千円 32,926	円 2,629	NUCOR CORP (アメリカ)			千株 1.714	千円 35,941	円 20,969
HORMEL FOODS CORP (アメリカ)		5,162	19,047	3,689	EMERSON ELECTRIC CO (アメリカ)			1.626	32,117	19,752
MIDDLESEX WATER CO (アメリカ)		2,048	16,641	8,125	ARCHER-DANIELS-MIDLAND CO (アメリカ)			2.637	22,733	8,621
BECTON DICKINSON AND CO (アメリカ)		0.629	15,789	25,103	PARKER HANNIFIN CORP (アメリカ)			0.206	22,272	108,118
H2O AMERICA (アメリカ)		1.854	13,777	7,431	JOHNSON & JOHNSON (アメリカ)			0.809	21,595	26,693
CONSOLIDATED EDISON INC (アメリカ)		0.924	13,531	14,643	ABBVIE INC (アメリカ)			0.66	21,165	32,068
ABM INDUSTRIES INC (アメリカ)		1.841	12,374	6,721	NORDSON CORP (アメリカ)			0.578	19,178	33,180
TARGET CORP (アメリカ)		0.875	11,966	13,676	PEPSICO INC (アメリカ)			0.767	16,837	21,952
AUTOMATIC DATA PROCESSING (アメリカ)		0.256	10,959	42,810	NORTHWEST NATURAL HOLDING COMPANY (アメリカ)			2.485	16,750	6,740
NUCOR CORP (アメリカ)		0.642	10,694	16,657	3M (アメリカ)			0.688	16,680	24,244

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表

## (1) 外国株式

銘柄	期首		当期末		業種等
	株数	株数	評価額	外貨建金額	
(アメリカ)					
ABBOTT LABORATORIES	百株	百株	千円	千円	
AUTOMATIC DATA PROCESSING	36.69	36.58	465	72,985	ヘルスケア
ARCHER-DANIELS-MIDLAND CO	15.96	17.42	435	68,344	資本財・サービス
CINCINNATI FINANCIAL CORP	100.46	75.2	441	69,187	生活必需品
BECTON DICKINSON AND CO	34.46	29.98	499	78,403	金融
CONSOLIDATED EDISON INC	23.16	25.07	478	75,099	ヘルスケア
COLGATE-PALMOLIVE CO	42.54	46.92	464	72,808	公益事業
RPM INTERNATIONAL INC	52.03	60.1	475	74,650	生活必需品
NORDSON CORP	44.94	42	437	68,659	素材
COMMERCE BANCSHARES INC	25.3	19.52	454	71,359	資本財・サービス
COCA-COLA CO/THE	78.97	87.21	466	73,150	金融
BLACK HILLS CORP	66.12	66.59	483	75,827	生活必需品
HB FULLER	78.77	71.37	507	79,602	公益事業
MSA SAFETY INC	88.77	78.4	444	69,770	素材
UNITED BANKSHARES INC	30.47	26.86	413	64,917	資本財・サービス
ABM INDUSTRIES INC	139.89	127.17	472	74,051	金融
GENUINE PARTS CO	98.42	105.67	444	69,654	資本財・サービス
TENNANT CO	40.81	35.24	445	69,935	一般消費・サービス
CALIFORNIA WATER SERVICE GRP	66.48	56.06	396	62,236	資本財・サービス
UNIVERSAL CORP/VA	94.71	95.92	435	68,298	公益事業
STEPAN CO	82.32	89.14	461	72,392	生活必需品
JOHNSON & JOHNSON	94.88	103.02	452	71,042	素材
H2O AMERICA	30.69	24.39	502	78,835	ヘルスケア
ABBVIE INC	84.54	97.69	439	68,930	公益事業
KIMBERLY-CLARK CORP	24.59	20.22	464	72,798	ヘルスケア
AMERICAN STATES WATER CO	36.4	38.99	409	64,240	生活必需品
LOWES COMPANIES INC	59.14	62.65	459	72,038	公益事業
MIDDLESEX WATER CO	21.46	19.08	436	68,469	一般消費・サービス
MARZETTI	76	78.46	391	61,380	公益事業
3M	29.47	28.5	476	74,702	生活必需品
S&P GLOBAL INC	34.53	27.65	468	73,545	資本財・サービス
NUCOR CORP	9.59	9.62	470	73,830	金融
ALTRIA GROUP INC	40.19	29.47	452	71,031	素材
PARKER HANNIFIN CORP	81.1	73.44	421	66,047	生活必需品
PROCTER & GAMBLE CO/THE	7.93	5.87	493	77,351	資本財・サービス
PEPSICO INC	29.51	30.59	449	70,530	生活必需品
STANLEY BLACK & DECKER INC	35.38	31.14	453	71,075	生活必需品
SYSCO CORP	79.92	65.06	437	68,573	資本財・サービス
WALMART INC	67.18	61.26	457	71,785	生活必需品
PPG INDUSTRIES INC	49.33	44.42	462	72,510	生活必需品
NATIONAL FUEL GAS CO	44.07	45.91	446	69,973	素材
NORTHWEST NATURAL HOLDING COMPANY	62.48	57.61	459	72,045	公益事業
KENVUE INC	111.3	98.94	479	75,259	公益事業
EMERSON ELECTRIC CO	203.26	318.05	533	83,619	生活必需品
HORMEL FOODS CORP	45.64	33.36	429	67,309	資本財・サービス
ILLINOIS TOOL WORKS	160.43	211.79	478	75,085	生活必需品
TARGET CORP	19.99	18.8	455	71,525	資本財・サービス
DOVER CORP	49.61	48.36	408	64,134	生活必需品
WW GRAINGER INC	28.11	25.17	460	72,271	資本財・サービス
ファンド合計	2,862.67	2,906.68	22,315	3,500,572	
	株数、金額 銘柄数×比率	株数、金額 銘柄数×比率			

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したもので

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## (2) 外国投資信託受益証券

銘柄	期首		当期末	
	口数	口数	評価額	外貨建金額
(アメリカ)	千口	千口	千円	千円
PROSHARES S&P DIVIDEND ARISTOCRAT	4,037	5,129	527	82,783
合計	口数、金額 銘柄数×比率	口数、金額 銘柄数×比率	527	82,783 <2.2%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したもので

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## (3) 外国投資証券

銘柄	期首		当期末	
	口数	口数	評価額	外貨建金額
(アメリカ)	千口	千口	千円	千円
FEDERAL REALTY INVS TRUST	5,102	4,767	463	72,641
合計	口数、金額 銘柄数×比率	口数、金額 銘柄数×比率	463	72,641 <1.9%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したもので

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2025年11月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	3,500,572	93.4
投資信託受益証券	82,783	2.2
投資証券	72,641	1.9
コール・ローン等、その他	93,305	2.5
投資信託財産総額	3,749,303	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したもので

す。なお、11月25日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=

156.87円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(3,704,088千円)の投資信託財産総額

(3,749,303千円)に対する比率は、98.8%です。

# 米国配当王マザーファンド

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年11月25日現在

項目	当期末
<b>(A) 資産</b>	<b>3,749,303,145円</b>
コール・ローン等	86,471,212
株式(評価額)	3,500,572,666
投資信託受益証券(評価額)	82,783,877
投資証券(評価額)	72,641,223
未収配当金	6,834,167
<b>(B) 負債</b>	<b>17,392,000</b>
未払解約金	17,392,000
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>3,731,911,145</b>
元本	2,975,203,367
次期繰越損益金	756,707,778
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>2,975,203,367口</b>
<b>1万口当り基準価額(C / D)</b>	<b>12,543円</b>

\*期首における元本額は3,170,352,217円、当座成期間中における追加設定元本額は144,849,226円、同解約元本額は339,998,076円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

iFreePlus 米国配当王 (資産成長型) 1,127,626,886円

iFreePlus 米国配当王 (年4回決算型) 1,847,576,481円

\*当期末の計算口数当りの純資産額は12,543円です。

## ■損益の状況

当期 自2025年5月24日 至2025年11月25日

項目	当期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>48,395,366円</b>
受取配当金	48,268,316
受取利息	127,050
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>319,645,611</b>
売買益	549,376,705
売買損	△229,731,094
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 359,847</b>
<b>(D) 当期損益金(A + B + C)</b>	<b>367,681,130</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>434,472,798</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△ 72,422,924</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>26,976,774</b>
<b>(H) 合計(D + E + F + G)</b>	<b>756,707,778</b>
<b>次期繰越損益金(H)</b>	<b>756,707,778</b>

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。